

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書


- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【宮城県】

学校名【岩沼市立玉浦中学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	岩沼市立玉浦中学校 ・生徒全学年（168名） ・教員（15名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育・学活） ② 行事名 （オリンピック・パラリンピックの精神を学ぶ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	各教科等での学習や学校行事（アスリートとの交流事業を含む）等の活動を通して、次世代日本を担う子供に求められる身知徳の涵養を図る。これら活動を通して、生徒がオリンピック・パラリンピックの精神である「スポーツ」「文化」「環境」を主体的にとらえることで、自己肯定感・自己有用感を高揚する効果を期待する。
5 取組内容	実施内容：元日本代表 平瀬智行さんによる講演 9月26日（木）5・6校時 元日本代表として活躍するまでの、幼少期からの努力について写真や動画などで講演をいただいた。 ・本気で何事にも向き合うことの大切さについて ・夢を追い続ける事の大切さについて ・謙虚さが大切である事を自身の体験談について ・実技を披露していただき、プロの技を間近で見学することができた



	<p>実施内容：仙台大学 石丸出穂准教授による講演 10月25日（金）5・6校時 北京オリンピック全日本男子バレーボールアナリストとして参加した経験から、データ分析を通してスポーツを見ることの大切さを講演いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手を支える人が多く関わることでできる、選手のパフォーマンスの引き出し方について ・オリンピック・パラリンピックへの参加は、選手としてだけではなく多様な関わり方があることについて ・スポーツの戦術の幅を広げるために、数値化してデータ分析する方法について 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピックや世界大会で活躍する選手との交流を通して、プロスポーツを身近に感じることができた。 ・ オリンピックを経験した方から講演をいただき、オリンピック・パラリンピックを身近なものに感じることができた。 ・ 選手の生き方に触れ、前向きな心を持つことの大切さを知ることができた。 ・ スポーツとオリンピック・パラリンピックの関係についての講演で、意義について学ぶことができた。 ・ 新たにプロスポーツ観戦をしたい生徒が増加したと考える。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピック・パラリンピックに選手としてだけではなく、アナリストとして参加した方の話が聞けるように講師を設定した。 ・ データ分析を通して、スポーツを数値化して見るおもしろさと、自己分析から部活動や体育において欠点を補うことのできる内容を依頼した。 ・ 実技や実践を通して、世界と自分たちの技術の差を比較できるようにした。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な行事とする場合の予算的な確保。 ・ 生徒の参加意欲を高める工夫や事前の準備。 ・ 講義形式だけではなくディスカッションを行う際、教師のファシリテーターとしての能力や研修の機会。 ・ 教育活動での位置づけと時数の取り方。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>聖火リレーへの学校単位での参加が予定されている。福祉教育や外部団体との交流を通じた行事は継続していく予定である。</p>